

年頭によせて

安平町長

及川 秀一郎



国内では、新型コロナウイルス感染症による長期の自粛生活を乗り越え、各地で日常生活が戻ってまいりました。

町内でも「あびら夏！うまかまつり」は雨天にも関わらず多くの人で賑わい、芸能発表会や文化祭、町内会行事などにも多くの方が参加され、それまで当たり前のよう

に存在していた「日常」のありがたみを実感いたしました。今年も、老朽化が進んでいた早来町民センターの大規模改修工事が完了し、合宿所機能を持った新しい施設へ生まれ変わります。せいこドームと合わせ、体育施設をときわ公園一帯に集約し「より多くの方に活用されること」「町内の社会教育施設の充実により、スポーツ・文化を通じた人の交流や来町者の増加で町中が賑わうこと」を目指しております。

また「道の駅あびらD51ステーション」は今年でオープン7年目を迎えますが、国土交通省北海道開発局による「北海道『道の駅』ランキング2023」において、「家族で訪れたい道の駅（子どもや高齢者に優しい道の駅）」部門で第1位に選ばれました。家族みんなで楽しめる施設づくりのためにご尽力されております関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。今後も安平町の顔となり、町の魅力を伝える施設として、より多くの方が訪れてくださることを期待しております。

一方で世界に目を向けますと、いまだにロシアによるウクライナへの軍事侵攻の終わりが見えない中、韓国での政治不安やアメリカ大統領が変わるなど、大きな動きがあります。世界情勢が物価や燃料費など私たちの日常生活にも影響が出てくることから、今後の動きに注目すべき状況が続いています。

町民の皆様、明けましておめでとございます。輝かしい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より町政各般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年は、元日に発生した「能登半島地震」の衝撃的なニュースから1年が始まりました。

安平町としましても「平成30年胆振東部地震」で経験したことが少しでも被災地の方々の一助になればと考え、現地への職員派遣を行い、被災自治体や避難所において支援活動を行ってきました。被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

国内外を問わず、世界的に地球温暖化の影響は大きく、昨年の夏も北海道とは思えないほど暑い日が続きました。毎年暑い日が続くことから、公共施設のエアコンの設置を進めており、安平町においても「安平町地球温暖化対策実行計画」を策定いたしました。町全体で省エネルギー、省資源などのゼロカーボンの

取り組みを推進し、脱炭素化社会の実現に向け邁進してまいります。

町内の軽種馬産業においては、天皇賞（秋）や日本ダービー、ジャパンカップなど国内主要レースでも安平町産駒が優勝し、歓喜をもたらしましたが、今年も多くの産駒が国内外のターフを疾走し、活躍されることを望みます。

今後とも町民の皆様と手を携え「チームあびら」の合言葉のもと「育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち」の実現のため、より一層お力を貸していただきますよう心からお願い申し上げます。

結びになります。心豊かなさと日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めていくため、町民の皆様と協働しながら邁進する所存でありますので、引き続き温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

頌春

安平町

町長 及川 秀一郎

副町長 田中 一省

安平町議会

議長 長 多田 政拓

副議長 長 梅森 敬仁

議員 工藤 秀一

〃 米川 恵美子

〃 小笠原 直治

〃 鳥越 真由美

〃 田村 興文

〃 三浦 恵美子

〃 箱崎 英輔

〃 内藤 圭子

〃 高山 正人

安平町農業委員会

会長 梶原 和亀男

職務代理 谷口 龍治

委員 辻 信芳

〃 富樫 瑛一朗